

令和4年度 第7回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2023.01.31 (火) 18:30-19:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高橋（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 大谷 奥田
加藤 酒井 須田 寺井 中西
町野（書記） 宮腰 湯川（敬称略）

新委員： 伊藤

欠席委員： 川口 手束 西田 村上（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2023年1月）：高橋先生

理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 奈良県警から依頼のあった事案（70代男性が脊柱管狭窄症手術後に心筋梗塞になり死亡された案件）に対して、JSSR学会としての意見書を大阪公立大の寺井先生が作成され、JSSR学会事務局に提出した。
2. 1月16日のJSSR理事会にて、町野正明先生（名古屋大学）から伊藤定之先生（名古屋大学）へ安全医療推進委員会委員の交代が承認された。町野先生と伊藤先生から委員の先生方へご挨拶があった。
3. プリオン病感染予防についてのアンケート調査と脊椎脊髄手術の周術期合併症調査（JSSR-DB2021年度報告からの検討）については、4月のJSSR学術総会における学会主導研究セッションで発表と論文化まで町野先生が担当する。
4. 脊椎内視鏡UBE（Unilateral Bi-portal Endoscopy）について、当委員会からSmith & NephewおよびStrozに対してヒアリングを行う予定。今後PMDAと相談して、安全な普及に関して検討する。
5. 本年4月のJSSR学会会期中に当委員会を開催しない方針とした。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. 貸出器械洗浄・滅菌確認書を作成しJOA理事会に提出した。今後JOA理事会にて確認書の運用手順について検討していく。
2. 内視鏡の付属品が納入できない状況となっており、付属品を再使用することについてJSSR学会は認めない方針。現在国内器械メーカーが付属品を作成し代用している状況

である。

2. 検討・報告事項

(ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究： 酒井先生、手束先生

手束先生に代わり今釜先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 研究内容を英語論文化し当委員会委員にて内容確認を行った。英文校正後に SSRR へ投稿（Title: Management of antithrombotic drugs before elective spine surgery: a nationwide web-based questionnaire survey in Japan）した。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生に代わり今釜先生から研究報告について下記確認がされた。

1. 研究内容を JSR へ論文投稿しており、順調に進捗している。

(ウ) プリオン病感染予防についてのアンケート調査：酒井先生、町野先生

町野先生から研究報告について下記確認がされた。

1. アンケート調査の抄録内容を委員にて確認し演題登録した。4月のJSSR 学術総会における学会主導研究セッションでの発表は町野先生が担当、5月のJOA 学術総会シンポジウムで発表は酒井先生が担当する。
2. 学会発表内容をPPT化しメールにて委員による確認を行う。次回の委員会で発表スライドを最終確認する。
3. 脊椎脊髄手術の周術期合併症調査（JSSR-DB2021 年度報告からの検討）の発表内容についても同様に委員による事前確認を行う。

3. 次回委員会開催日

- ・ JSSR 理事会開催後に予定
- ・【次回】2023.3.28（火）18時30分～
- ・【次々回】2023.5.30（火）18時30分～